

ひびき

教育目標「なかよく かしく たくましく」
<めざす姿>認め合い 自分で考え チャレンジする子
多治見市立共栄小学校 R7.8.27

マリーゴールドを通してつながる地域と学校！

ー猛暑の夏休み、水やりやお世話、ありあとうございましたー

共栄小学校長 加藤 隆史



共栄校区のまちづくり市民会議による「花いっぱい運動」では、例年、マリーゴールドを育てています。学校で3年生が育てたマリーゴールドを夏休み中は地域の皆様にお世話をしてもらいます。今年も、3年生が種まきや水やり、プランターへの植え替えを行い無事に花を咲かせました。夏休み中、そのマリーゴールドを共栄校区の公共施設や金融機関、お店や工場などでお世話していただきました。

8月のある日、お世話をしていただいているマリーゴールドの様子を見に地域を回りました。夏休み前の引き渡しの会では、まだ小さく数が少なかったマリーゴールドが、大きく成長している姿がそこにはありました。すると、ある事業所の方が出勤すると早々に水やりを試みえました。「ありがとうございます」と声をかけると、「子どもたちが登校するようになったとき、枯れていると寂しいだろうから、枯らすわけにいきません。」と、子どもたちのことを思った温かい言葉をかけてくださり、とても嬉しい気持ちになりました。

地域の方々が心を込めて育ててくださったおかげで、マリーゴールドは夏の間、元気に花を咲かせ続けました。地域との絆が深まる中で、子どもたちがよりよく成長していくのを感じさせられました。

夏休み明けの学校生活がいよいよ始まります。マリーゴールドのお世話のみならず、地域の皆様の温かいご支援に心から感謝し、今後もこうしたつながりを大切にしていきたいと思っています。引き続き、よろしくお願い申し上げます。